

学生の皆さんへ

令和2年12月1日

学長 新井 一

後期から、オンライン授業を継続しつつ、各学部において3密を避けるための工夫と対策を実施したうえで対面授業を行ってきました。感染対策の観点から、まだまだ様々な制約がありますが、学生の皆さんがキャンパスに来て、教員や仲間とふれ合う機会が持てるようになったことは非常に喜ばしいことです。新しい授業体制や新しい生活様式に早くに慣れ、しっかり勉学や課外活動に励んでほしいと思っています。

医学を中心に発展してきた本学には実学重視、全人教育の伝統があります。できるだけ多くの対面授業が始められるよう、感染状況を見ながら引き続き検討していきますが、現在のオンライン授業、対面授業併用の状態が継続する可能性も高いと考えています。

オンライン授業は、多くの教員にとってはじめての経験であり、試行錯誤の中で徐々に洗練されてきましたが、改善余地は多いと思います。一方で、反復学習ができる、質問がしやすい等、オンライン授業ならではのメリットも確認されています。大学として、学生の皆さんからの意見や提案もいただき、With コロナ、After コロナ時代における新しい学びの形を模索したいと考えています。

新型コロナウイルス感染症は、米国、欧州を中心に世界的に感染が拡大しており、収束の兆しは見えません。国内でも11月以降、新規感染者が拡大し、第3波の到来が現実のものになろうとしています。職場や家庭、大学においても感染が発生しており、感染のリスクはより身近になっています。

一方で、世界中の医師、研究者がこの感染症の実態解明とその治療法・感染防止対策の確立に向け取り組んでおり、現在では相当の知見が蓄積されてきました。相手が何者か分からないと不安やおそれに際限がありませんが、相手を正しく理解し、正しい対応策を行うことで不安やおそれはコントロールできます。

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応方針について（第7報）」を改めて確認してください。3密を避ける、手指消毒を徹底する、人と対面するときには常にマスクを着用する、普段からバランスのよい食事、適度な運動、休養・睡眠を心がけ、免疫力を高める、こうした感染対策を、普段の生活の中で当たり前のこととして行うことで、この感染症に感染するリスク、感染させるリスクを大きく減らすことができます。一人ひとりが順天堂大学の一員としての自覚を持ち、感染対策に留意して学生生活を送って欲しいと思います。